

★町おこしファンド★

～最強大分の創造をめざせ！～

【応募区分：高校】

チームID：SL700563

学校名：大分県立情報科学高等学校

チーム名：情報科学A松尾

リーダー：松尾 あずさ（3年）

メンバー：安藤 真琴（3年）・吉永 唯（3年）

指導教官：衛 藤 準（商業科教諭）

ファンド名	格差社会に負けるな！21世紀型故郷大分ファンド				
業種名	銘柄コード	銘柄名	市場名	投資金額	組入比率
電気機器	7751	キヤノン	東証1部	400000 円	8%
輸送用機器	7262	ダイハツ工業	東証1部	350000 円	7%
情報・通信	2327	新日鉄ソリューションズ	東証1部	300000 円	6%
化学	4005	住友化学	東証1部	200000 円	4%
ガラス・土石	5233	太平洋セメント	東証1部	250000 円	5%
電気機器	6758	ソニー	東証1部	250000 円	5%
輸送用機器	7003	三井造船	東証1部	200000 円	4%
ジャスダック機械	6314	石井工作研究所	ジャスダック	350000 円	7%
化学	4403	日本油脂	東証1部	200000 円	4%
石油・石炭	5016	新日鉱ホールディングス	東証1部	200000 円	4%
サービス業	2476	テンブスタッフ	東証1部	250000 円	5%
電気・ガス	9508	九州電力	東証1部	300000 円	6%
銀行業	8411	みずほフィナンシャルグループ	東証1部	300000 円	6%
銀行業	8392	大分銀行	東証1部	300000 円	6%
サービス業	4680	ラウンドワン	東証1部	200000 円	4%
食料品	2501	サッポロホールディングス	東証1部	200000 円	4%
輸送用機器	7012	川崎重工業	東証1部	200000 円	4%
化学	4911	資生堂	東証1部	200000 円	4%
小売業	2653	イオン九州	ジャスダック	250000 円	5%
サービス業	4723	グッドウィル・グループ	東証1部	250000 円	5%
合計投資金額				5,000,000 円	100.0%

I テーマ設定の理由

私たちの住む大分は江戸時代、豊後といい、今でも豊かな自然、山海の幸に恵まれた、まさに“豊の国”である。その大分県は現在人口120万で九州でも中規模県だが、この40年で大きく変貌を遂げようとしている。小泉政権で格差社会という言葉が定着し、地方と中央の格差はますます開くばかりである。しかし、本県だけを見ると着実に経済的には上向きである。新産業都市構想による企業誘致の中核となってきた新日鐵や住友化学の好調を始め、製造業を中心の県作りに特化してきた施策が実を結ぼうとしている。豊の国として、農林水産業が盛んだった県から、21世紀のこの国の生き残るキーワードである”ものづくり“産業中心へ転換したからこそだと思う。

数字的にみても、全国の地方が伸び悩む中、決算収支の推移が実質30年連続黒字であり、単年度収支が2年連続で黒字である。義務的経費が人件費・扶助費・公債費の各項目で減少していて実質公債比率14%は全国4位の改善幅である。県債の発行抑制は臨時財政対策債を除いた通常債の発行は4年連続で減少。プライマリーバランスが全国5県のみで5年連続黒字で、県税収入が2年連続で増加である。また、県経済の現状2003年度の一人当たりの県民所得、2003年度の実質経済成長率、2005年度の製造業設備投資額、7月の有効求人倍率がライバル福岡県を抜いて九州1位となり、経済的には九州で最も豊かな県となっている。

このように大分が急成長したのは、通商産業省官僚だった一村一品で有名な平松守彦知事が新産都構想を更に加速させ、テクノポリス、マリノポリス等の新たな企業誘致や情報化を積極的に20年以上継続させて、産業構造の転換を行い、それを更に通産省（現経済産業省）の後輩であり、事務次官まで登りつめた現広瀬勝貞知事が後を引き継ぐ形で、スピード感のある決断で次々と企業誘致を成功させ、それに伴う港湾や道路等のインフラ整備を徹底している。また、負の遺産と言われた大規模公共施設も殆どを民間に売却した結果、ついに福岡県を抜いて九州経済No.1の繁栄を取り戻したのである。

更に今年5月に日本経団連会長に本県出身で郷土愛豊かなキヤノン会長御手洗富士夫氏が就任した。御手洗氏は、キヤノンで他の会社ではあまり使用されていない経営戦略等で、自社の売り上げを伸ばしてきた。キヤノンは平松知事時代から大分に工場を置いていたが広瀬知事就任後、御手洗会長は次々と大分に新たなキヤノンの大規模工場拠点を造っている。このような日本の官と財を代表する2人が、故郷大分の経済を発展させるために繰り出している施策や今後を中心に考えると、今まさに“大分こそ買い！”と考えた。大分の経済は益々上昇していくのは間違いない。

格差社会の加速が想定、地域（東京と地方）格差が拡大、中央頼みでは地方は生き残れないことを地方が感じる事が重要である。そして、自分たちの資金をそういった地元優良企業に投資する風土を造る。その好循環ができれば、九州NO.1となった大分は発想を変えれば、自立的発展が可能なのではないかと考え、強い大分を更に強くするために貢献する“21世紀型故郷ファンド”を考えた。

II 私たちのめざす具体的社会像

社会を日本は東京を拠点とする大都市に人口集中し、極度の一極集中型で日本人の3人に一人は首都圏に住むという異常な状態。このままでは21世紀、中央と地方の格差はますます拡大→その構造に負けない大分県を造るためのポートフォリオ作成手順

- (1) 本県のモノづくりを特徴とする産業構造を更に特化。優良企業が活躍しやすい本県のインフラ整備をしてサポートし、新たな優良企業の誘致を引き込む。経済的にも安定した県として、少子高齢化に負けない発展できる社会。
- (2) 豊富な求人が生まれることに柔軟性をもって対応できる良い人材派遣会社の存在と労働力供給
- (3) 安定した雇用が安定した家計の安定にもたらし、住環境や物価、教育等、トータルでの暮らしやすさをより追求した幸せ満足度の指数の高い地域社会
- (4) 元々恵まれた温泉などの豊かな自然資源を大切にしたいCSRとRSIのバランスのとれた社会で地元と企業の密着度強化。
- (5) 家計の積極消費が地元企業への収益をもたらし、更に私たちの投資によって資金を得て、元気をますます増す地元誘致企業の繁栄。
- (6) 大都会東京にも負けない本当の豊かな自然に囲まれた豊かな暮らしの実現。将来的には大分に大企業の本社本体が移転できることも可能な地域社会。

III 銘柄選出の視点と投資分野

1 銘柄選出の視点

- <1> 21世紀の日本発展のテーマは“ものづくり” その“ものづくり企業”を中核にこのテーマに特化した優良企業群のみを抽出
- <2> 全て大分県に工場及び本社をもつ、もしくは本県出身者の経営する優良企業。県民の経済の安定や幸せのためには地元の安定した雇用は不可欠。
- <3> “ものづくり企業”をサポートする企業 輸出用の造船や電力、資金・人材の供給源となる企業群
- <4> IRやコンプライアンス、CSRに力を入れる本県の自然と人を大切にする企業
- <5> 大分の温泉等の自然やプロスポーツ資源（J1大分トリニータや九州唯一のサーキット場、プロバスケットチーム：ヒートデビルズ等）を更に活性化させ、眠っている資源を活性化させることも可能な夢をもった企業。CS重視の企業。
- <6> 最低限のファンダメンタルズをクリアした企業（特にROA、ROE等中心）

2 投資分野

- <1> ものづくり分野 製造業[キヤノン・ダイハツ工業・新日鐵・住友化学等・・・]
情報・通信
- <2> ものづくりサポート分野 金融・電力・人材派遣等
- <3> 県民の消費還元分野 ファミリー全般、女性、男性、その他サービスへの消費
(豊かな自然・スポーツ、健康等への波及を念頭に)

IV 抽出銘柄

1) 新日鉄ソリューションズ [2327 東証1部 情報通信業]

昭和40年代以降、大分県産業の中核にありひびきつてきた関連企業であり現在の県の大分県の経済発展に大きな影響力を持っている。国内だけでなく海外にも進出している日本を代表する大企業であり、国内外からも注目されており株価も近年順調に上昇基調。

本業の業績も好調で、特に中国経済の大きな伸長によりますます順調であり、大分工場もその中核の1つとしてフル稼働の状況。大分の新産都の旗手として今後ますます期待。

2) 住友化学 [4005 東証1部 化学業]

化学製品だけではなく、他にも沢山の種類の製品を開発している企業。「化学製品は環境に良くない」というイメージがあるが、住友化学では環境や安全など社会に貢献している。このCSR部分を大いに評価。環境だけでなく、地球規模で人々を助けたりする活動をしている。新日鉄と並び新産都の中核企業として本県でも幅広い層から支持される企業。

3) 新日鉱ホールディングス [5016 東証1部 石油・石炭製品業]

本県佐賀関に東洋一の大規模煙突をもつといわれた工場は有名。石油、石油化学、非鉄金属、電子材料など、世界の産業や人々の生活を支える、基礎素材を安定的・効率的に供給することを使命として事業を展開する総合資源エネルギー企業グループ。最近の石油の値段が上昇により、最近のチャートの動きも良い。

4) 太平洋セメント [5233 東証1部 ガラス・土石製品業]

業界シェア4割弱。秩父小野田と日本セメント合併。米国、中国、ベトナムに海外工場を持っています。ハイキュラスやエコセメントの資源循環型社会のニーズにこたえるまったく新しいセメントの商品などがあり、15年4月にはコンクリート舗装ブロック製品関連の顧客と当社関連会社を対象とした「太平洋セメント舗装ブロック工業会」を設立。これから更に発展すると予想。

5) キヤノン [7751 東証1部 電気機器業]

07年末には薄型テレビが発売されるので、大きな利益が期待できる。それに、キヤノンの工場が大分県にあることで、大分県の経済活動に大きく寄与。御手洗会長が本県出身であり日本経団連会長になったのも大きく評価。現広瀬知事とも大変交流が深い人なので、事業展開に大きな期待ができる。実際にキヤノン新工場付近の公共インフラが急速に進んでおり、更なる付加価値や他地域よりも優位性のある環境が整いつつある。

6) サッポロホールディングス [2501 東証1部 食料品業]

ビール・発泡酒第3位で2003年に4事業会社に再編した。本県日田市に平成15年に工場設置。サッポロビール・黒ビールを生産している。ビールの他にもジュースなどの幅広く活躍しています。そして日本で初めてビヤホールを始めた会社。今は、会社の収益向上改革を行っている。将来にむけた持続的成長の促進のために努力。来年には大分に第2工場設置を発表。大分県のビールの中核としてのブランドネームを高めることも期待。

7) ダイハツ [7262 東証1部 輸送用機器業]

私たちを取り巻く道路事情や、これからの高齢化社会、エネルギーや地球環境の問題、アジア諸国をはじめとする世界のモータリゼーションの新しい流れを考えると“コンパクト”こそが、今後のクルマ社会の発展に欠かせないキーワードだと確信。このコンセプトを活かし、気概と勇気と執念をもち可能性への挑戦を続ける企業で今後の伸びも十分期待。

8) 石井工作研究所 [6314 ジャスダック 機械業]

大分市に本社のある半導体製造後工程装置メーカー。切断・成形。マーキング、製品検査等が領域。住宅・環境に進出しています。精密機器や半導体製造の製造・販売が主業務。今、世の中にあるものには殆どいいほど半導体機器や精密機器が使われており、この企業がないと今の社会が回らない程、実際はオンリーONE企業。広瀬知事も一押しの本県発のものづくりの先頭に立つ企業。今後の予想も堅実な経営眼をもったあまり知名度は高くないが、とても優れた企業。

9) ソニー [6758 東証1部 電気機器業]

AV機器世界最大。ゲーム・映画・音楽・金融にも多角化。本県国東町に工場をもち、MOS後工程、半導体素子を主に製造。ソニー太陽など、障害者雇用にも責任を果たし、CSRの意識も高く、大分県に長年にわたり貢献している。経営陣刷新、初の外国人トップ誕生。パソコン、ゲーム機、音楽機器を作るだけでなく映画業界のサポート等を行い、活動の幅が広い。新商品の開発も次々に計画、今後も期待。新商品にはプロジェクター用ズームメモリー付レンズ、HD-SDI出力に対応のハイエンドDVレコーダー等がある。

10) 日本油脂 [4403 東証1部 化学業]

界面活性剤などの工業油脂や食油、火薬・加工品等に展開する総合科学会社。本県大分市に工場を持ち、日本油脂はとても国際的で、社員の意欲ある挑戦にサポートしている。働き甲斐と豊かな人生に実現にも勤めている。環境・安全への配慮しながら商品開発している。

11) 三井造船 [7003 東証1部 輸送用機器業]

造船・重機大手の一角。船用ディーゼル機関で国内トップ。大分市から県南部にかけて造船が多い県です。三井は、造船工場大型クリーンルーム等強化しています。最近では、新日鉄などの製鉄業がまた盛んになっている。そして、その相手先は、中国を中心とするアジアへ向けの輸出である。ものづくりとその輸出の必要性から、島国日本にとっては造船業への波及は不可欠と考え、組み入れ。船用ディーゼル業界での存在感を評価した。

12) 川崎重工業 [7012 東証1部 輸送用機器業]

以前から県内に工場を持ちものづくりとその輸出の必要性から、技術立国日本にとっては中心的な存在感を示す企業。その事業は幅広く、航空宇宙事業、車両事業、汎用機事業、ガスタービン・機械事業、プラント・環境・鉄鋼事業、船舶事業までとても幅広いものがある。特にその中でも汎用機事業の二輪車から産業用ロボットまでを研究開発している部分に注目。大分県には九州で唯一の国際サーキット場がありその事業との関連性が非常に深い企業。

13) 九州電力 [9508 東証1部 輸送用機器業]

ものづくりをサポートする中核的企業として抽出。九州の電力をほぼ独占的につかさどる欠かせない企業である。資本金 2,373 億円、従業員数 13,074 人を誇る。水力、火力、地熱発電から原子力発電所 2 ヶ所を持ち、各企業に安定した電力供給をする信頼性の高い銘柄。コンプライアンスの意識も大変高い。またCSR（企業の社会的責任）への取り組みの実績と今後の取組方針などを取りまとめた「九州電力CSR報告書」等の発行も評価。

14) みずほフィナンシャルグループ [8411 東証1部 銀行業]

大分市にも支店をもつ都銀グループ。特に、頭取の前田社長は本県中津市の出身で不良債権からのみずほ復活の立役者といわれ、郷土の誇れる金融のプロである。銀行業界でもその経営手腕や存在感は評価され、株価も好調さを維持している。みずほコーポレート銀行、新光証券株式会社を合併し、今後の更なるM&Aに期待したい国内メガバンク。

15) 大分銀行 [8392 東証1部 銀行業]

大分県が地盤だが北九州にも店舗展開している。地銀中位だが、経営は健全で格付けも邦銀の中では高い。地域活性化や企業育成にも注力しており、CSRにも積極的である。大分県の銀行といえば、“大銀”であり、2番手であった豊和銀行の経営が揺らぐ中、ますます一人勝ち状態。企業誘致ともの作り産業で勢いを増す大分の企業群の中心。優良地銀で地域の活性化にも力を入れ、今回のテーマに近い実践の企業。

16) イオン九州 [2653 ジャスダック 小売業]

総合スーパー・ホームセンター・スーパーセンターの3つの業態を展開している企業。大分市の東部にある大規模ショッピングエリア。パークプレイスの中核施設で、連日の大人気である。またホームセンターHOMEWIDEもライフスタイルや環境の変化等によって多様化、個性化に対応。環境保全・社会貢献活動を積極的に推進。「お客様満足NO.1」の実現に向け取り組んでいる。

17) 資生堂 [4911 東証1部 化学業]

化粧品国内首位で世界4位。グローバルなブランド戦略を展開。“美しくあいたい” “健やかでありたい” “幸せでありたい” この願いを皆様と分かち合いたい、優れた品質やサービスなどを通じて新しい価値として提供していくのが私たちの仕事です。という理念を持った企業。資生堂といえば、今年「TUBAKI」等が大ヒット。CM等も多くの有名人を使い認知度やブランドイメージが今年更に一段と上がった。

18) ラウンドワン [4680 東証1部 サービス業]

ボーリング・ゲーム・カラオケの複合店の経営をしている企業。人の多い関西・首都圏を中心に全国展開。ついに今年本県大分市に第1号店をオープンさせた。他にないような「スポッチャ」という新しいタイプもあり、天候にかかわらずいつでも大人から子供まで楽しめるようにと考えている企業。金額も安くプレイ用具も無料で貸し出し、内外のスポーツも楽しむことができる。ボーリング・カラオケ・アミューズメントフロア等充実。

19) テンプスタッフ [2476 東証1部 サービス業]

中津市・豊前市にある人材派遣業界第2位の人材派遣会社。大分県のものづくり産業を支え伸ばしていくためには、豊かな質の高い人材バンクは不可欠である。せっかくの大分の有効求人倍率の高さを現状は生かしきれておらず、反面ニート等が多くその人たちを取り込んでいく人材派遣業の役割は大変高い。経営手腕や理念に今後の伸長を更に期待。

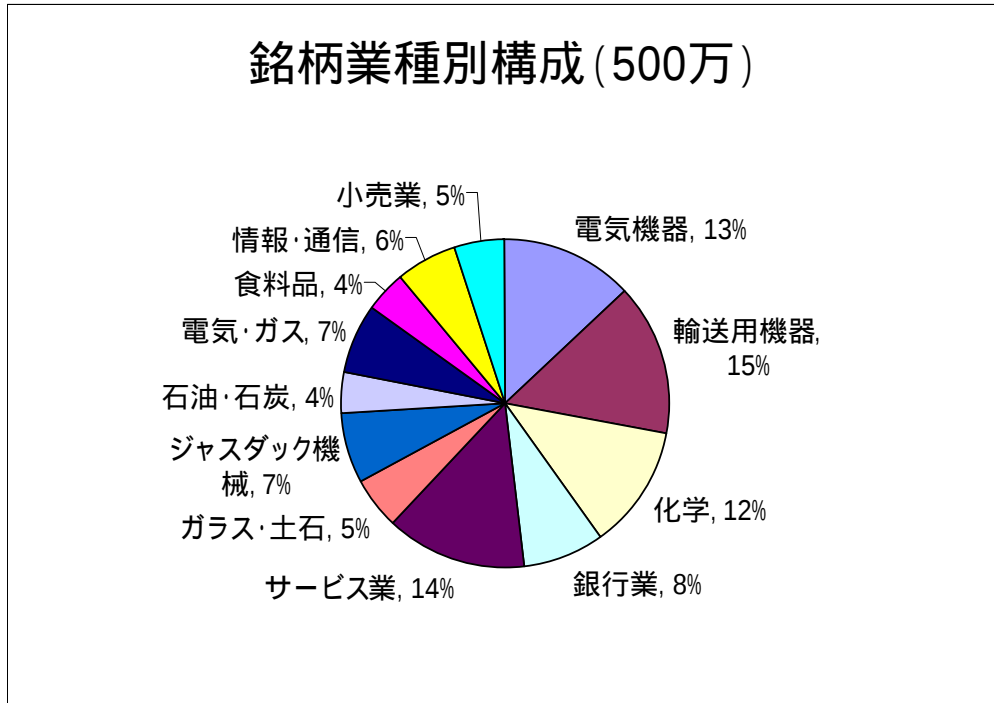
20) グッドウィル・グループ [4723 東証1部 サービス業]

大分県は日本でも有数の高齢化先進県であり介護福祉サービス等のニーズは非常に高い。この企業は<1>人材ビジネスとして総合人材サービスのグッドウィル。<2>健康ビジネスではコムスンが確かな技術で全国にサービスを提供。また<3>感動ビジネスとして、バーリントンハウスがメディケア・レジデンスの運営、各種サービスを提供。の三本柱で構成。

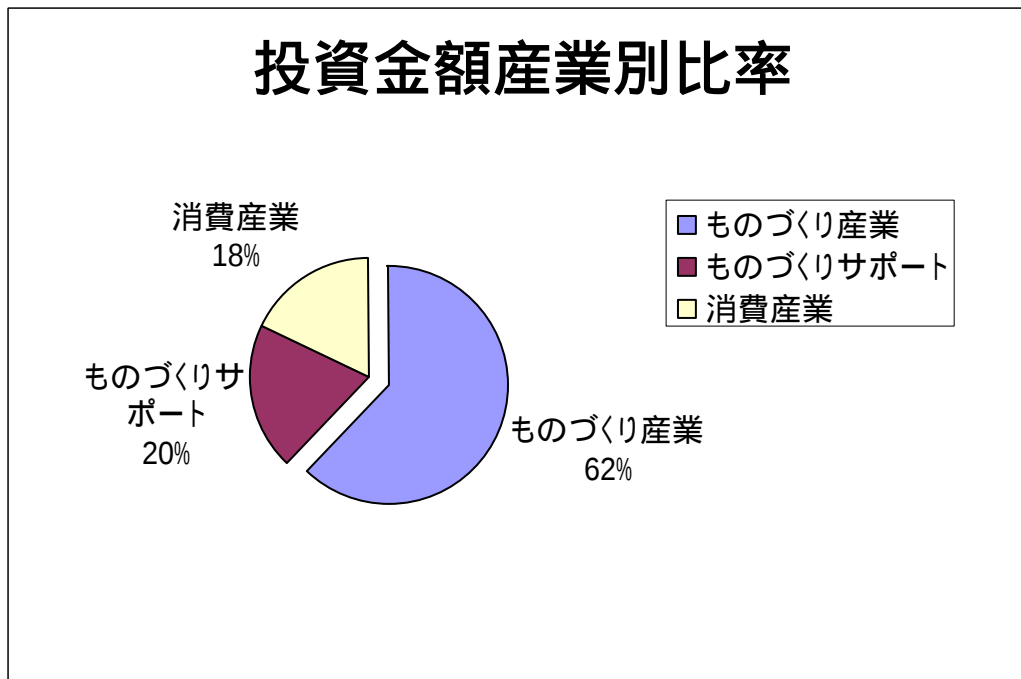
V ポートフォリオの客観分析

1 ポートフォリオの構成

(図1 銘柄業種別構成グラフ)



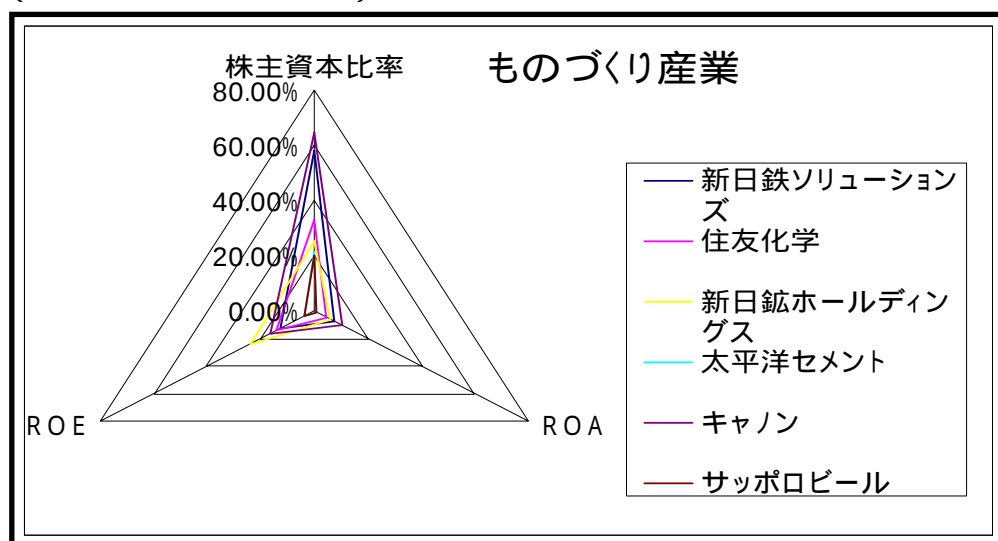
(図2 投資金額産業別比グラフ)



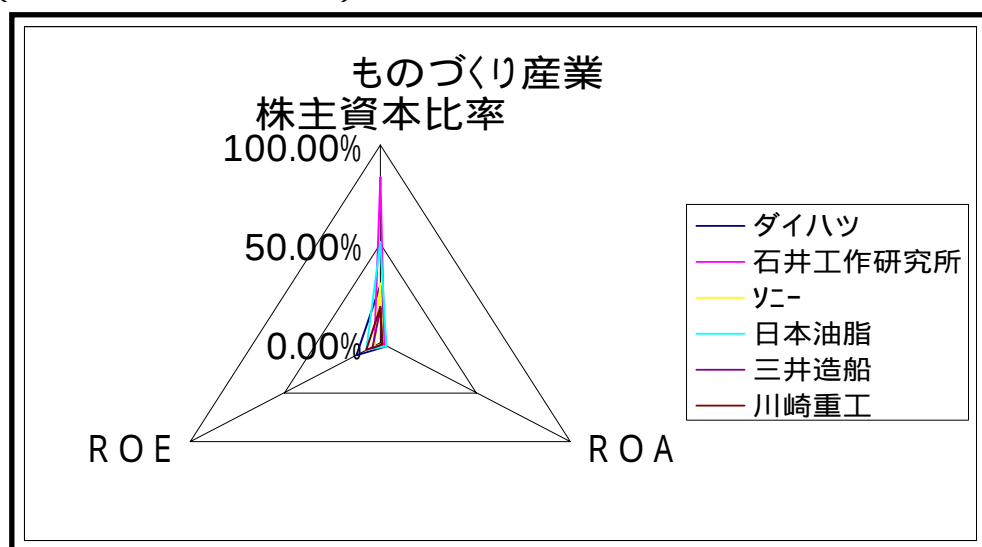
2 銘柄の産業別ファンダメンタルズ分析

投資産業別に株主資本比率、ROA、ROEの3点に着目し分析をした。産業ごと、かなりバランスがとれていることが分かる。

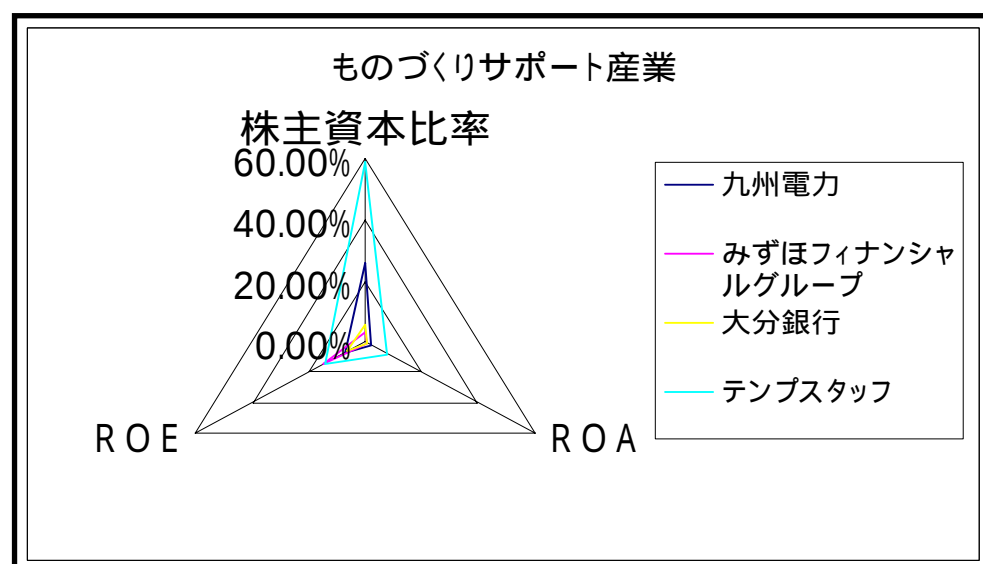
(図3 ものづくり産業)



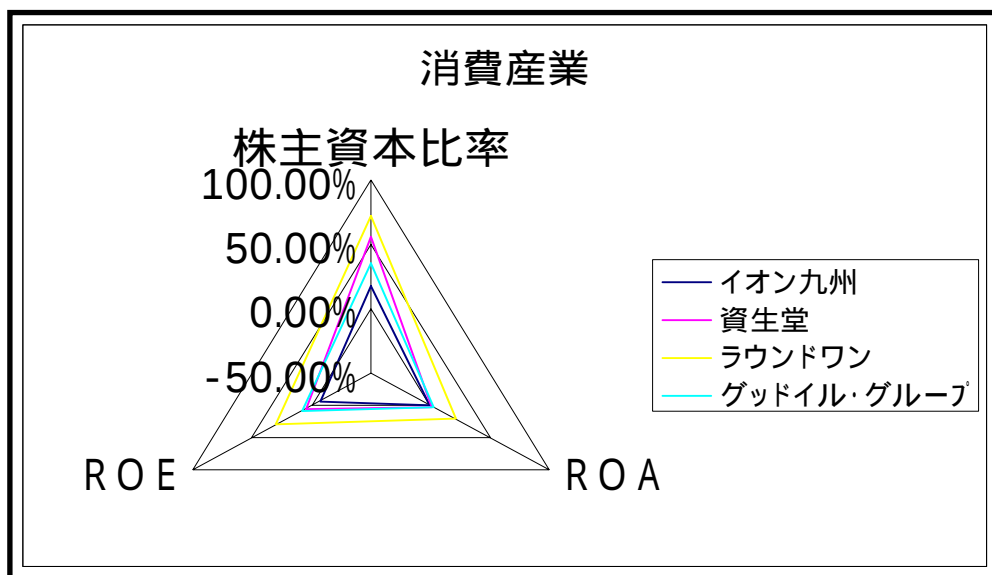
(図4 ものづくり産業)



(図5 ものづくりサポート産業)

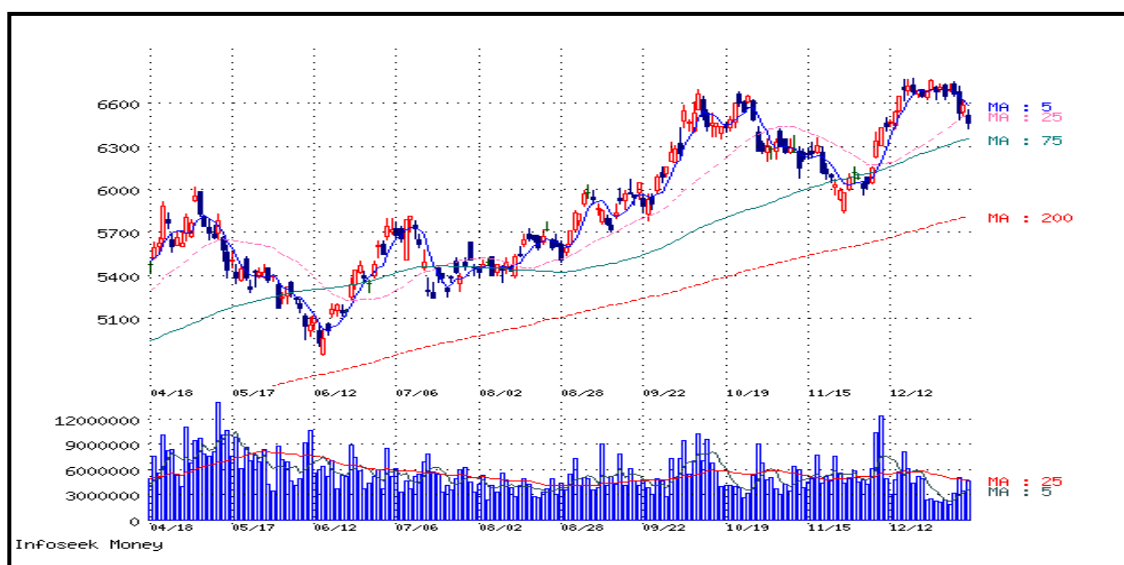


(図6 消費・サービス産業)



3 特徴ある個別銘柄の株価チャート

(1) 本ポートフォリオの中核と期待した銘柄 キヤノン (図7)



(2) 県内に本社のある地場企業代表銘柄 石井工作研究所 (図8)



(3) 設定期間中最も株価が上がった銘柄 ソニー (図 9)



(4) 設定期間中最も株価が下がった銘柄 三井造船 (図 10)



1 学期から継続して、株式学習とチャート分析をした銘柄ばかりなので、どの銘柄も短期的値動きに惑わされず、テーマ及び抽出条件に合致した優良銘柄を抽出できていることに自信を持ち保有したい。

4 全20銘柄個別株価の動き (図11 11月末設定時～1月10日現在)

購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	評価額(円)
2006/11/30	新日鉄ソリューションズ (東証1部) 2327	3,440	86	295,840	3,540	304,440
2006/11/30	テンブスタッフ (東証1部) 2476	177,000	1.3	230,100	167,000	217,100
2006/11/30	サッポロホールディングス (東証1部) 2501	643	307	197,401	680	208,760
2006/11/30	イオン九州 (ジャスダック) 2653	1,794	137	245,778	1,825	250,025
2006/11/30	住友化学 (東証1部) 4005	778	254	197,612	913	231,902
購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	評価額(円)
2006/11/30	日本油脂 (東証1部) 4403	623	317	197,491	624	197,808
2006/11/30	ラウンドワン (東証1部) 4680	398,000	0.4	159,200	345,000	138,000
2006/11/30	グッドウィル・グループ (東証1部) 4723	103,000	2.4	247,200	98,400	236,160
2006/11/30	資生堂 (東証1部) 4911	2,335	84	196,140	2,485	208,740
2006/11/30	新日鉱ホールディングス (東証1部) 5016	845	234	197,730	815	190,710
購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	評価額(円)
2006/11/30	太平洋セメント (東証1部) 5233	462	535	247,170	461	246,635
2006/11/30	石井工作研究所 (ジャスダック) 6314	608	569	345,952	577	328,313
2006/11/30	ソニー (東証1部) 6758	4,580	54	247,320	5,430	293,220
2006/11/30	三井造船 (東証1部) 7003	412	480	197,760	360	172,800
2006/11/30	川崎重工業 (東証1部) 7012	412	480	197,760	426	204,480
購入日	銘柄名	取得単価	取得株数	取得金額	終値	評価額(円)
2006/11/30	ダイハツ工業 (東証1部) 7262	1,186	292	346,312	1,168	341,056
2006/11/30	キヤノン (東証1部) 7751	6,120	64	391,680	6,460	413,440
2006/11/30	大分銀行 (東証1部) 8392	809	244	197,396	821	200,324
2006/11/30	みずほフィナンシャルグループ (東証1部) 8411	852,000	0.2	170,400	866,000	173,200
2006/11/30	九州電力 (東証1部) 9508	2,940	100	294,000	3,040	304,000

4 ポートフォリオ設定後の値動きとパフォーマンス (図12 設定から1月11日現在)



SL700563 さんの評価額	5,031,061 円
平均評価額	5,087,742 円

(図13 1月11日時点の評価額)

VI ポートフォリオの分析と総括

ポートフォリオ設定時直後、元本割れしたが、1月11日現在20銘柄中13銘柄が値上がりし、31,061 円の運用益が出て、1314 位と順位も上がってきた。思ったほどの運用益は上がっていないが、中長期の視点で投資テーマを選んだので全く心配していない。「顧客満足(CS)を考え、活動している企業」、「地元に着したIRやコンプライアンス、CSRに力を入れ本県の自然と人を大切にする企業」等についても、バランスよく抽出できた。これらの企業の評価をするのは、やはり消費者であり生活者である地元の私たちである。地元住民との調和、共生をめざさねばならない。

私たちが目指すのは世界的なものづくり産業もあり、大分発のオンリーワン企業もある。またそれをサポートする金融や電力業界、人材供給企業も盛んである。それらの就労で得た家計のお金が地元企業で、各分野・年代で消費され、非製造業も更に潤いを見せる。また一部は地元に関係の深い金融界に預金され企業への再投資に向かうという地域循環を産みだし、広く県民が幸せを実感できる社会を作り出すという当初のテーマに沿った自分たちなりに満足のいくポートフォリオができた。

今後はこの理念を一人でも多くの大分県民やまた地方の自立に共感してくれる投資家たちに、私たちは具体的提案をしたい。

まずは大分県民・ポートフォリオ企業へ次の8つを提言したい。

提言

- <1>車は軽自動車(ダイハツ)で豊かな自然を満喫! 軽自動車ナンバーワン県へ
- <2>各種宴会はサッポロビールで乾杯を!
- <3>デジカメはキヤノンかソニー製! プリンタはキヤノン製を!
- <5>預金は“みずほ”か“大分銀行”へ!
- <6>人材派遣労働力が豊富な町への転換!
- <7>癒しは家族と郊外型の買い物へ! パークプレイス(イオン)で会いましょう!
- <4>美容は資生堂商品をメインに!
- <8>男はカワサキ(バイク文化を再生し九州唯一の県内サーキット場へ!)

以上、大胆な提言ばかりだが、今まで地域に着した企業イメージが薄かった本県を考えると、今後は両者の強力な密着融合こそが21世紀型発展となると確信する。

VII ストックリーグのまとめ

4月から課題研究の中で株式について学習してきたが、今まで株というものに触れることがなかった。

まずは優れた経営者について学ぶということで、本県出身のキヤノン会長の御手洗富士夫氏について調査していた所、5月に経団連会長となることが発表され驚いた。祝賀状を送ったところ私たち一人ひとりにお返事をくれ感激した。その郷土愛に勇気づけられた私たちが故郷をテーマにポートフォリオを考え始めるという大きなきっかけとなった。

テーマはすぐに決まったが、実際に調べていくと、思っていた以上に資料がなかったりし、いろいろな課題にぶつかった。大分県の経済発展に大きく関わっている企業を抽出したが、以前から本県にあったのに私たちに知識がなく遠く感じていた企業ばかりで、業界等では結構有名な企業が多いということにこの学習で初めて実感した。また、本県出身の御手洗氏や経済評論家の大御所、三原淳雄氏等、日本経済をリードする幅広い素晴らしい人たちが多くいるということも分かり、地元の後輩として大きな自信となった。

今まで余り興味や関心はなかったニュースや新聞等で見聞きする情報に敏感になり、自然とニュースに注目するようになった。私たちの学校は、商業科と工業科が一緒になった高校だが、近年工業科には多くの求人が殺到し、商業科には少ないのはなぜなのかがこの学習を通じて理解できた。株式投資の本来の意義をもっと多くの人が理解し、自分たちの暮らす街の優良企業を直接支援すれば、意見も積極的に言え、私たちの暮らす町ももっと住み良くすることに反映できるということも理解できた。そのためにはRSIの視点が重要であり、一人一人が責任感をもって企業選別していくことが不可欠だとも実感した。同時に賢く収益を上げられるより良い投資家を目指し、これからももっと株式について深く学んでみたいと思う大変よい経験となった。

最後になりましたが、資料請求や取材に協力してくれた企業の方々、このような貴重な学習の場を与えていただいたストックリーグ主催者の方々に心より感謝申し上げます。

参考資料

- STOCK FANTASY 日本経済新聞社 2004 年
- STOCKリーグ「学習マニュアル」 日本経済新聞社
- 「わかる日経」 日本経済新聞社
- 日経 会社情報 2006 秋号 日本経済新聞社
- 会社 四季報 2006 秋季号 東洋経済新報社
- 株式会社ABC 東京証券取引所
- 日経マネー 1～12月号 日経ホーム出版社
- 日経トレンディ 2004.10月号・11月号・12月号 日経ホーム出版
- 最新業界地図がまるごとわかる本 2004年版 三原淳雄 2004年・2005年 高橋書店
- 最新業界地図がまるごとわかる本 2006年版 三原淳雄 2006年・2007年 高橋書店
- 世界地図で読むグローバル経済 伊藤正直 2004年 旬報社
- 「タブー」の世界地図帳 世界情勢を読む会 平成17年6月 日本文芸社
- 経済のニュースが面白いほどわかる本 日本経済編 細野真宏 1999年 中経出版
- 図解雑学 株のしくみ 寺尾 淳 2000年 ナツメ社
- 超やさしい株値チャートがスラスラ読める本 阿部智沙子 2001年 中経出版
- 日本経済新聞、MJ流通新聞、日本教育新聞、大分合同新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞
- 大分県の経済と産業 1990>>>2005 2005 株式会社 大銀経済経営研究所
- 回想・平松県政四半世紀 大分合同新聞社 2004.1月 大分合同新聞社編集局
- 新大分県の創造 ―安心・活力・発展― 広瀬勝貞 平成15年 内外情勢調査会
- 語ろう - 大分県の夢 広瀬勝貞 平成17年 内外情勢調査会
- 企業立地のご案内 大分県 大分県企業立地街進課 平成14年度 大分県
- 企業立地のご案内 大分県 大分県企業立地街進課 平成16年度 大分県
- 豊の国テクノポリス圏域内企業ガイド ～躍進する企業群～ 平成6年3月(財)大分県地域技術振興財団
- 県民経済計算からみた大分県の経済 平成5年 大分県
- 新産都おおい 昭和56年2月 (株)アドバンス大分 斉藤 事
- LEAD 大分県 就職ガイドブック 2007 (株)プランニング大分<メディア開発部>

【参考サイト】

- 日本経済新聞社公式HP <http://rank.nikkei.co.jp/money/>
- インフォシーク・マネーHP <http://money.www.infoseek.co.jp/>
- 日経ストックリーグ公式HP <http://manabow.com/sl/info/index.html>
- 日刊工業新聞社公式HP <http://www.nikkan.co.jp/>
- 日経産業新聞公式HP <http://ss.nikkei.co.jp/ss/>
- 東京証券取引所公式HP <http://www.tse.or.jp/>
- 東証株式学習ゲーム公式HP <http://www.ssg.ne.jp/>
- 野村証券バーチャル株式投資倶楽部公式HP <http://www2.nomura.co.jp/>
- キヤノン公式HP <http://canon.jp/index.html>
- ダイハツ公式HP http://www.daihatsu.co.jp/index_f.htm
- 新日鉄ソリューションズ公式HP <http://www.ns-sol.co.jp/>
- 住友化学公式HP <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>
- 太平洋セメント公式HP <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>
- ソニー公式HP <http://www.sony.co.jp/>
- 三井造船公式HP <http://www.mes.co.jp/>
- 石井工作研究所公式HP <http://www.i-kk.co.jp/>
- 日本油脂公式HP <http://www.nof.co.jp/>
- 新日鉱ホールディングス公式HP <http://www.shinnikko-hd.co.jp/index.php>
- テンプスタッフ公式HP <http://www.tempstaff.co.jp/>
- 九州電力公式HP <http://www.kyuden.co.jp/>
- みずほフィナンシャルグループ公式HP <http://www.mizuho-fg.co.jp/>
- 大分銀行公式HP <http://www.oitabank.co.jp/>
- ROUND1公式HP <http://www.round1.co.jp/>
- サッポロビール公式HP <http://www.sapporobeer.jp/>
- 川崎重工公式HP <http://www.khi.co.jp/>
- 資生堂公式HP <http://www.shiseido.co.jp/>
- イオン九州公式HP <http://www.aeon-kyushu.info/>
- グッドウィル・グループ公式HP <http://www.goodwill.com/>